

まぼろしの「つちのこ」が生息する!?ほど自然たっぷりの村で農・食・クラフト体験



体 驗

美濃白川茶と 東濃ひのきの里

あの世界遺産、合掌造りの…? いいえ違います。東白川村は岐阜県の南東部に位置する県内でいちばん小さな村。「美濃白川茶」発祥の地、また高級建材「東濃ひのき」の主産地として、2千人程の村人が自然と寄り添い穏やかに暮らす昔話の舞台のような里です。

東濃ひのきの 間伐体験

銘木「東濃ひのき」の産地で間伐・枝打ちを体験し、木をなりわいにするひとたちの思いにふれながら、森を元気にするお手伝い。

問 0574-78-3222(こもれびの里)

昔ながらの 茶摘み体験

白川茶のふるさとで茶農家さんと手摘みした茶葉を釜炒り手揉みして、おいしそうなお茶をいただけます! (5~6月限定)

問 0574-78-3222(こもれびの里)



あなたも「つちのこ」に遭える!? 大搜索体験

ビール瓶のような胴体をした蛇のようといわれる幻の生きもの「つちのこ」。実はその目撃情報が日本で一番多いといわれているのが東白川村なのです!



■ つちのこフェスタ

年に一度開催される、村をあげての大搜索イベント! 平成元年に100万円から始まったつちのこ発見者への賞金は、毎年1万円ずつキャリーオーバーされ現在に至っています。賞金を手にするのはあなたかも?

毎年5月開催
ステージイベントなどあり

つちのこ探査にはバスポートの購入が必要
所 中川原水辺公園
問 0574-78-3111
(東白川村役場 つちのこフェスタ実行委員会事務局)

■ つちのこトレイルマラニック

つちのこを搜索しながら里山の素晴らしい大自然を自分のペースでゆったり走ったり歩いたりして満喫するトレランイベント。コースは尾根越えや谷越えなどさまざま。補給所やゴールには村のおいしい特産品のおもてなしアリ!

毎年秋に開催
秋の山道で紅葉を楽しみながら
心と体をリフレッシュ
所 村内各所
問 0574-78-3192(株式会社ふるさと企画)



ひがしらかわ
東白川村
(加茂郡)



たとえばこんな1泊2日＼のうはくモデルコース／

現地までのアクセス

- 東海環状自動車道「美濃加茂IC」より国道41号(29km)白川口～県道62号線(15km)
- 中央自動車道「中津川IC」から国道257号(29km)加子母～国道256号(10km)
- JR高山本線「白川口駅」下車～濃飛バス「加子母・大明神」行「東白川村役場前」下車

1日目

「こもれびの里」で「食」や「クラフト」の体験を入口に、村の魅力にふれよう。事前の問い合わせで、人数や時間、要望に応じたオリジナルプログラムの相談ができる! また、日本で唯一のつちのこ資料館「つちのこ館」は必見! 幻の生物捕獲を目指し、こちらでしっかり情報収集を! 同館では村の特産品を取り揃えています。

2日目

東白川村をディープに楽しもう! 茶摘みをはじめ四季折々の農業体験、ガイドの案内で里山を歩くトレッキングや、森の營みにふれる間伐・炭焼き・薪割り体験も。夏は澄みわたった清流で釣りやカヌーの川遊びが最高! 5月には毎年恒例の「つちのこフェスタ」、秋には「つちのこトレイルマラニック」にぜひチャレンジを!

泊



昭和初期の農家を模した里山体験施設

こもれびの里

オオサンショウウオが生息する清流・白川が流れ、山々に囲まれた美しい村で、地元農家さんといっしょに収穫した無農薬野菜をトッピングしたピザや郷土料理づくり、森の恵みの木枝から世界でひとつだけの作品をつくるクラフト体験など、ホンモノの田舎が満喫できる宿泊施設。

所 岐阜県加茂郡東白川村神土606

問 0574-78-3222



こんな体験できます

- 【郷土食体験】五平もち(通年)/朴葉すし(6~7月)/栗きんとん(9~10月)/手打ちうどん(通年)
- 【クラフト体験】スワッグ・木の枝リース・樹恵里/東濃ひのきの木工・草木染め・陶芸



オオサンショウウオも棲む清流を満喫!



村の中心を流れる白川は、夏場は鮎やマス釣り、アウトドアで活気づきます。浅瀬で流れもゆるやかなので子どもの川遊びにもぴったり!

ふるさとヴィレッジ 魚の宿

川辺に4棟がかわいく並ぶコテージに、1棟10名までの家族やグループで貸切で利用できます。



所 加茂郡東白川村神土平
問 0574-78-3222



泊